

社 会

倫理, 政治・経済
日本史 世界史 地理

(100点 60分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出 題 科 目	ペ ー ジ	選 択 方 法
倫 理, 政 治・経 済	3~21	左の4科目のうちから1科目を選択し、解答せよ。
日 本 史	22~45	
世 界 史	46~65	
地 理	66~88	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。
 - ① 受験番号欄
受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。
 - ② 氏名欄、試験場コード欄
氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。
 - ③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄
解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。
- 5 受験番号及び解答する科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、20 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の③にマークせよ。

(例)

解答 番号	解 答 欄
20	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

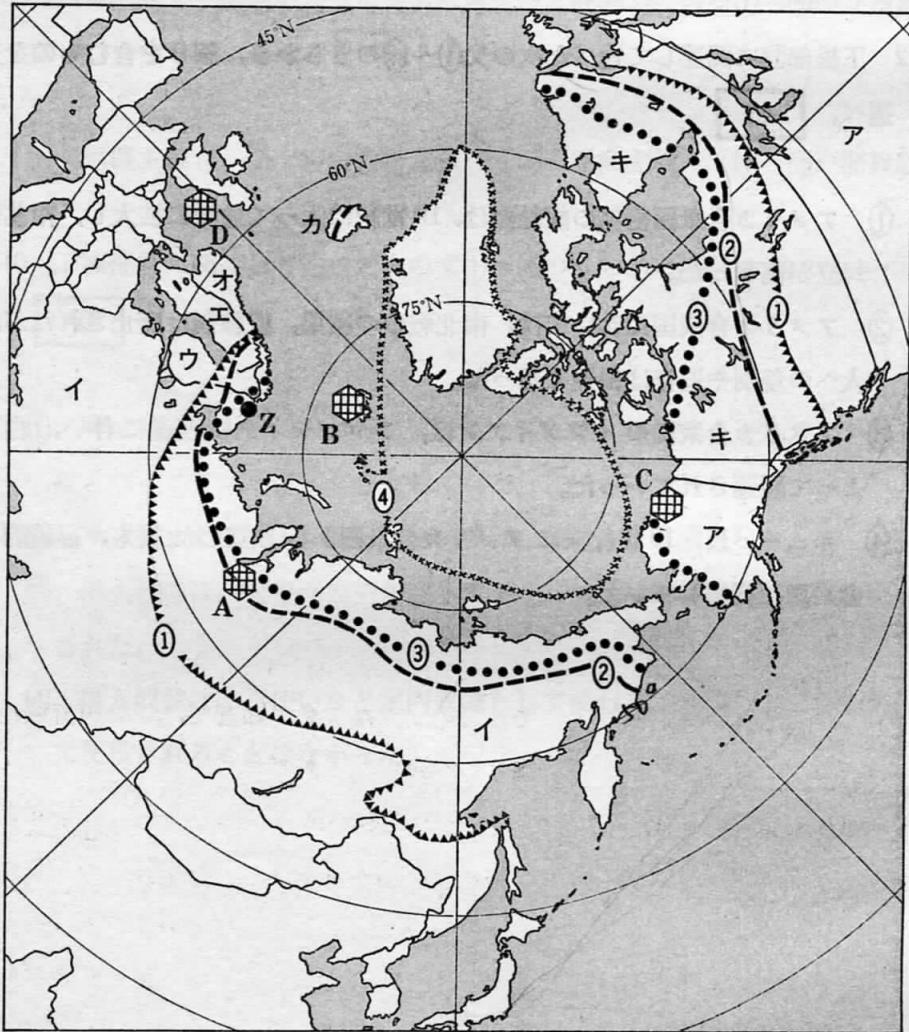
地 理

(解答番号 1 ~ 50)

第1問 自然環境と開発などに関する次の問い(A・B)について答えよ。

(配点 24)

A 北極を中心として描かれた次の地図を見て、次ページ以下の問い(問1～6)に答えよ。



問 1 前ページの地図に用いられている図法の特徴について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選べ。 1

① 図の中心からの方位及び面積は正しく表される。

② 図の中心からの方位とともに、同一経線上の2地点間の距離は正しく表される。

③ 球面上の任意の2地点間の最短経路(大圏コース)が、図上で直線として表される。

④ 地球上の任意の地点で測った角度は図上で正しく表される。

問 2 図中の線①～④のうちから、森林地帯とツンドラ地帯との境界を示すものを一つ選べ 2 に、また、耕作限界を示すものを一つ選べ 3 に答えよ。

問 3 次の文章の下線部①～⑤のうちで誤っているものを一つ選べ。 4

高緯度地方の自然を特徴づけるものの一つとして、永久凍土層がある。これはシベリア・カナダ・①アラスカの北部などに広く分布し、その面積は日本の55倍にもなる。夏季には地表付近の凍土はとけ、それによって生じた水分が②コケなどの生育を可能にする。また、夏季に凍土の融解がより深く、かつ長期にわたる地域には、針葉樹の樹海である③タイガが形成されているところもある。

凍土地域で裸地が形成されると、地表付近の凍土がとけやすくなり、相対的にまわりよりも地表が低くなって、なかには直径10 kmほどにも達する広い皿状の凹地が生ずる。シベリアではこのような現象が顕著で、レナ川流域に住む④ラップ人はこの凹地を放牧地や農耕地として利用している。

凍土地域には土地利用上、いろいろな問題がある。その一つは、⑤夏季にとけて生じた水分が冬季地中で凍る際に地表面が持ち上がり、地表の建造物が傾くなどの現象である。また、この地域で地下資源として石油・天然ガスの採掘もすすめられるようになり、パイプライン等の建設にともなう植被の破壊や廃水の流出とその凍結などによる環境問題がおきている。

問 4 図中に六角形の記号で示したA～Dの四地域は、いずれも重要な地下資源の産地である。これらのうち石油も天然ガスも産しないところを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

① A

② B

③ C

④ D

問 5 図中のZは、イ国の北極海沿岸にある重要な港湾都市である。その地名を次の①～⑥のうちから一つ選び 6 に、また、この港について述べた下の文⑦～⑩のうちから誤っているものを一つ選び 7 に答えよ。

① ムルマンスク

② ウラジボストク

③ ヤクーツク

④ レイキャビク

⑤ ナルビク

⑥ ルレオ

⑦ この港は、大西洋から流入する暖流の北大西洋海流のために、年間を通して不凍港となる。

⑧ この港は、西ヨーロッパ諸国に近接し、大西洋へ直接出られるため、軍事的にも重要な地点に立地している。

⑨ この港は、水産加工品のみならず、農産物・石油をいずれも大量に積み出している。

⑩ この港は、スカンジナビア半島の大西洋沿岸の港と同様に、氷河時代に氷食作用を受けた湾に立地している。

問 6 北極を取り巻く地域は、ア国とイ国の政治的・軍事的対立の場でもある。両国に近接するウ～キの五か国のうち、ア国を中心とする軍事機構には加盟していない国の正しい組み合わせを、次の①～⑩のうちから一つ選べ。 8

① ウとエ

② ウとオ

③ ウとカ

④ ウとキ

⑤ ~~エとオ~~

⑥ エとカ

⑦ エとキ

⑧ ~~オとカ~~

⑨ ~~オとキ~~

⑩ カとキ

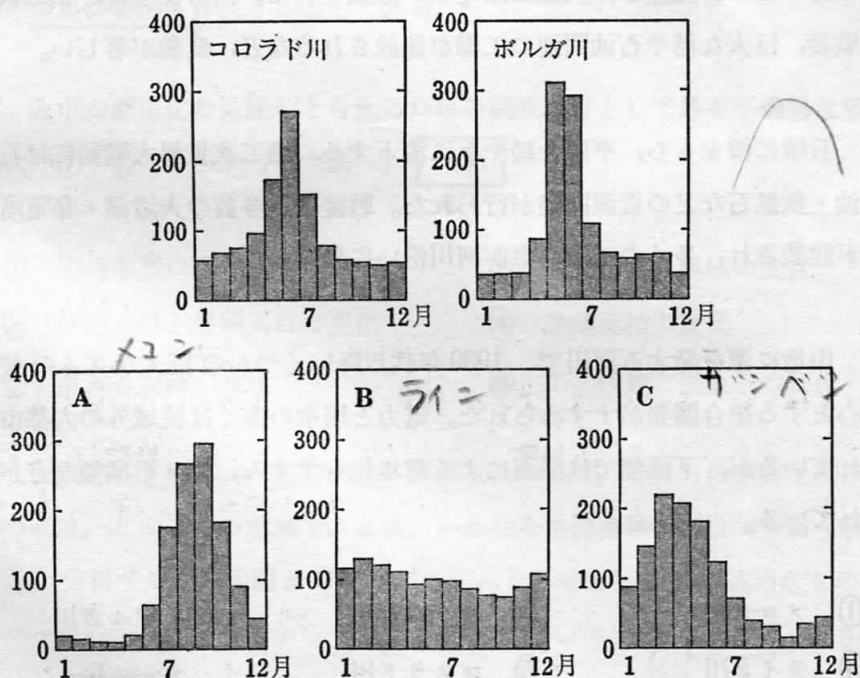
B 次の表は、世界の五つの河川(メコン川・ザンベジ川・コロラド川・ボルガ川・ライン川)の各流域について、気候などの特徴を示したものである。これに関して、下の問い(問7・問8)に答えよ。

	卓越する気候 (上流から下流へ)	河口の緯度	流域面積 (万km ²)	長さ (km)
メコン川	ET, Cw, Aw	10° N	80	4,020
ザンベジ川	Cw, BS, Aw	19° S	133	2,740
コロラド川	Df, BS, BW	32° N	59	2,320
ボルガ川	Df, BS	46° N	142	3,690
ライン川	Cf	52° N	22	1,320

気候区分はケッペンによる。流域面積・長さは「理科年表」による。

問7 河川の流量の季節的变化は、流域の気候などの特徴を反映している。次の図は、上の表に示した五つの河川の下流部における流量の季節的变化を表したものである。A・B・Cに該当する河川の組み合わせとして正しいものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

9



縦軸の値は、年平均流量(m³/秒)を100としたときの月平均流量である。

	A	B	C
①	ザンベジ川	メコン川	ライン川
②	ザンベジ川	ライン川	メコン川
③	ライン川	ザンベジ川	メコン川
④	ライン川	メコン川	ザンベジ川
⑤	メコン川	ザンベジ川	ライン川
⑥	メコン川	ライン川	ザンベジ川

問 8 次の文章ア～ウは、河川流域の開発の特徴について述べたものである。それぞれに該当する河川名を、下の①～⑥のうちから一つずつ選び、アは 10 に、イは 11 に、ウは 12 に答えよ。

ア 重要な国際河川であり、多くの都市が河川に沿って分布する。河口から約 200 km さかのぼった地域では、産業革命後、石炭を基礎に、鉄鋼・機械・化学などの工業が発達し、大鉱工業地域が形成された。河口部では、第二次世界大戦後、巨大な港や石油関連の工場が建設されるなど、変貌が著しい。

④

イ 丘陵に源をもち、平原を緩やかに流下する。第二次世界大戦前には石炭・石油・鉄鉱石などの資源開発が行われた。戦後は、多数の人造湖・発電所・運河が建設され、多くの工業都市が河川沿いに発達した。

③

ウ 山地に源を発する河川で、1930 年代以降いくつかの巨大なダムの建設を中心とする総合開発がすすめられた。電力と用水の多くは流域外の大都市に送られているが、下流部では灌漑による耕地化もすすみ、綿・柑橘類などが栽培されている。

⑤

① メコン川

② ザンベジ川

③ ボルガ川

④ ライン川

⑤ コロラド川

第2問 東京の都心部から約30 km離れた都市であるA市について、1965年以降の都市化に関する地域調査を行うことになった。そのために、既存の文献資料を読むとともに、2万5千分の1地形図(1983年発行)をあらかじめ読図して、次の(1)～(5)の仮説を立てた。この仮説を読んで、それらに関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

仮説(1) A市は、第二次世界大戦以前からその地方の中心都市としての機能を持っていたが、1965年以降の急激な都市化は、(a)東京大都市圏の拡大過程のなかで生じたものである。

仮説(2) A市の中心部では、職住の分離が進み、(b)人口のドーナツ化現象がみられる。

仮説(3) A市の急激な都市化は、(c)人口の年齢別構成に表れている。

仮説(4) A市の市街地拡大のしかたは、(d)地形条件によって大きく左右されている。

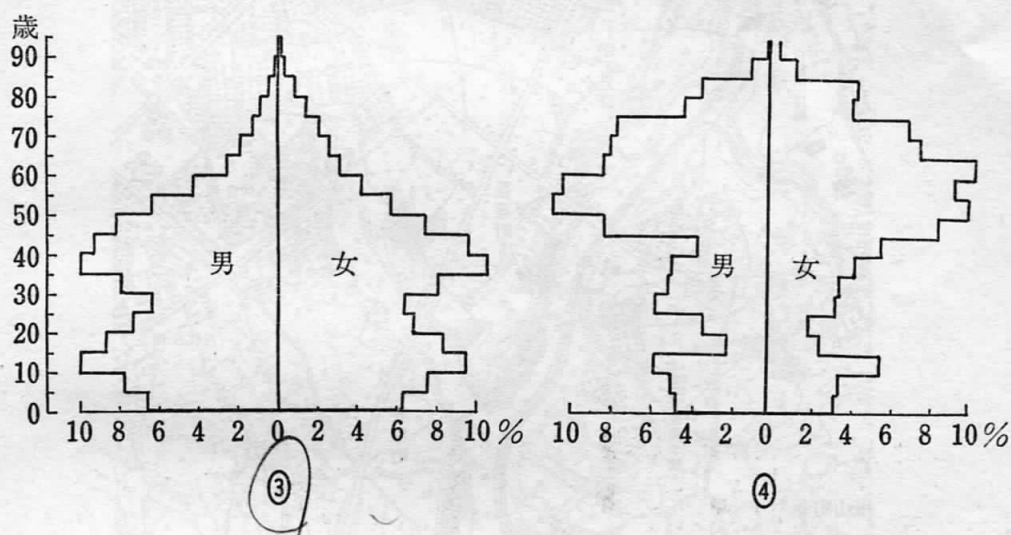
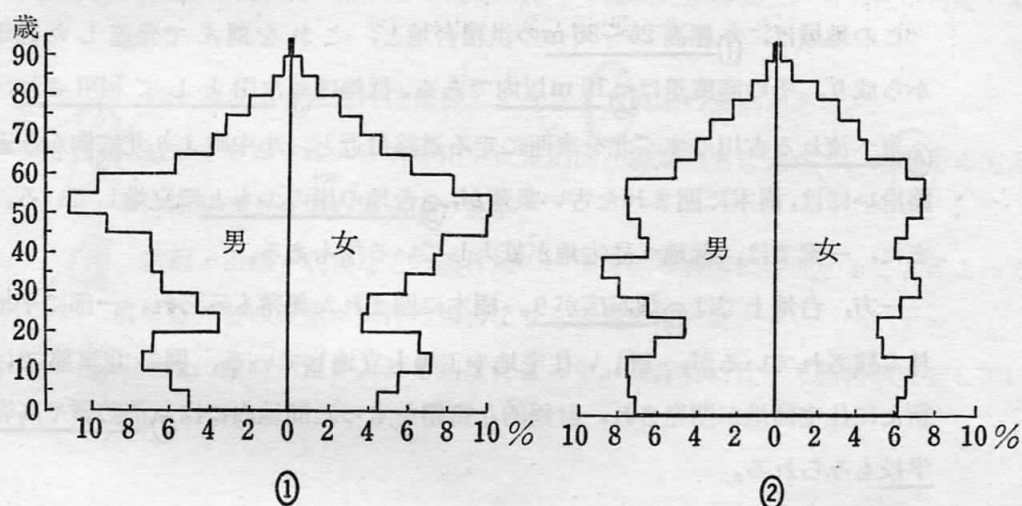
仮説(5) 水田の住宅地化が遅れているのは、農家が(e)水田を維持しようとするいくつかの要因も存在するからである。

✓ 問1 A市の都市化の進展をとらえるための調査項目として最も不適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 宅地面積の変化 | ② 産業別人口構成の変化 |
| ③ 夜間人口と昼間人口の変化 | ④ 農地面積の変化 |
| ⑤ 消費者物価の変化 | ⑥ 小学校数と児童数の変化 |

問2 仮説(1)の下線部(a)、仮説(2)の下線部(b)について、それらの事実を確かめるためには、どの範囲の地域で、また、いかなる単位地域の統計で分析すればよいか。分析する地域範囲と単位地域の組み合わせとして最も適当なものを、次ページの①～⑤のうちから一つずつ選び、(a)については 14 に、(b)については 15 にそれぞれ答えよ。

問 4 仮説(3)の下線部(c)を確かめるために、1985年の国勢調査報告から、5歳き
 ぞみの人口ピラミッドを描いてみた。次の①～④のうちから、A市に該当する
 ものを一つ選べ。 18



地形図 94

問 5 仮説(4)の下線部(d)に関連し、下の2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)に示された地域の地形と土地利用などについて述べた次の文章中の下線部①～⑦のうちから、誤っているものを二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

19 • 20

この地域は、①標高 25～35 m の洪積台地と、これを刻んで発達した低地から成り、その高度差は②10 m 以内である。低地は③水田として利用され、④東へ流れる古川のすぐ北を東西に走る道路付近と、小中町より北に向かう道路沿いには、樹木に囲まれた古い集落が、⑤台地の^{がけ}崖のふもとに立地している。また、一部では、低地へ住宅地が拡大している所もある。

一方、台地上では⑥畑が広がり、樹木に囲まれた集落もみられ、一部に平地林も残されているが、新しい住宅地や工場も立地している。図の北東部では新たに住宅団地が開発され、計画的な街路をもった団地内には⑦消防署や高等学校もみられる。



問 6 仮説(5)の下線部(e)に当たるものとして挙げた次の文①～⑤のうちから、誤っているものを一つ選べ。

21

- ① 水稻作は野菜や花き類の栽培に比べて機械化が容易で、省力化が可能である。
- ② 自家消費用の米だけは確保しようとする農家の意向がある。
- ③ 温室やビニールハウスを用いた集約的な農業経営に比べて、水稻作の方が単位面積当たりの収益がより高い。
- ④ 耕起・田植・収穫などの農作業の一部を他の農家に委託することによって、農業以外との兼業が畑作の場合よりも容易になった。
- ⑤ 米は、政府が買い入れる制度によって、畑作物に比べて価格が安定している。

13
第3問 工業化に関する次の文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 20)

工業化は、先進資本主義国では一般に、(a)繊維工業に始まり、これに代表されるような消費財工業の発展が、その素材を生産する金属・化学工業と、生産財や消費財を生産する機械工業の発展を促すという形で進行した。しかし、(b)工業化の様相は、国によっても異なり、また、(c)一国内においても地域的に多様である。工業化は、都市の発展を促し、人々の経済生活を豊かにしてきた。しかし、鉱工業の急速な発展は種々の環境破壊をもたらした。特に、大気汚染や水質汚濁は、人々の健康をも脅かすに至り、(d)公害問題を発生させた。

問1 下線部(a)に関して、イギリスの産業革命期に綿工業と羊毛工業が盛んであった地方はどこか。次の①～⑥のうちから該当するものをそれぞれ一つずつ選び、綿工業については 22 に、羊毛工業については 23 に答えよ。

① ランカシャー

② ミッドランド

③ イングランド南東部

④ ヨークシャー

⑤ ウェールズ南部

⑥ スコットランド中央低地

問2 下線部(a)に関し、日本の繊維工業について述べた次の文章中の下線部①～⑥のうちから、誤っているものを二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

24

・ 25

近世には、①日本でも綿の栽培が行われ、綿織物業が各地で②工場制機械工業として発展した。明治中ごろには、③輸入綿を利用した大規模な紡績業も成立し、綿工業は近代工業として著しい展開をみるようになった。こうしたなかで、④大阪府南部や倉敷のような近世の綿業地域の一部は、近代的な綿工業地域へと発展していった。一方、近世から養蚕業の盛んであった地域では、日本の開国以降、⑤生糸が重要な輸出品となったので、生糸生産量が著しく増大した。特に、中央高地や⑥北陸地方などでは、明治以降、近代的な製糸業が発展し、また、全国各地の伝統的な絹織物業も盛んとなった。

問 3 下線部(b)に関し、各国の工業化の様相を述べた次の文章①～⑤のうちから、
下線部に誤りのあるものを一つ選べ。 26

- ① アメリカ北東部のニューイングランド地方は、水力を利用した繊維工業から始まった国内で最も古い工業地域であり、現在では付加価値の高い精密機械やエレクトロニクスなどの工業が発達している。
- ② ソ連では、計画経済に基づき、天然資源の分布などを考慮してコンビナートを形成し、急激な重化学工業化を図った点に特色がある。
- ③ メキシコは、石油資源をもとに、急速に重化学工業化を図った。しかし、近年、石油価格の低迷のため、借入金の返済ができず、工業発展に支障が生じている。
- ④ 韓国では、繊維工業・雑貨工業から工業化が始まり、教育水準の高い、豊富で、安価な労働力を基礎に、外国の資本や技術を導入し、輸出中心の重化学工業化が急速に進められてきた。
- ✓ ⑤ イタリア南部は、石炭資源や水力資源にも恵まれ、早くから近代工業が成立したが、その後の発展は遅れ、イタリア北部との格差が問題となってきた。

問 4 下線部(c)に関し、日本の主要な工業地域の発展について述べた次の文章ア～エの下線部①～⑧のうちから、誤っているものを二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。 27 ・ 28

- ア 京浜工業地帯は、現在では①日本最大の総合工業地域である。特に②内陸部には技術水準の高い機械工業などが立地し、③臨海部の埋立地を中心に、鉄鋼・造船・化学などの大規模工場が立地している。
- イ 阪神工業地帯では、工業の発展に伴って、工業地域は臨海部や内陸部に広がった。大阪湾岸の埋立地には、代表的な業種の一つである④家庭用電気機器工業が集積している。

ウ 中京工業地帯では、繊維や⑤陶磁器工業などがまず発達した。京浜・阪神・北九州の工業地帯に比べ、重化学工業化は遅かったが、現在では⑥自動車などの機械工業や石油化学工業などが発達している。

エ 北九州には、20世紀初頭、⑦官営の製鉄所が設立された。その理由の一つとして、背後に筑豊炭田があったことがあげられる。その後、⑧インドの鉄鉱石や石炭の輸入の上でも有利なことから、この地は第二次世界大戦まで重要な工業地域となっていた。

問 5 下線部(d)に関して述べた次の文章を読み、29・30・31に入れるのに最も適当なものを、下の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

日本の公害問題は明治期の足尾などでの29問題に始まった。第二次世界大戦後には川崎・四日市などでの大気汚染、水俣などでの30による水質汚濁など、深刻な健康被害が発生した。これに対し、被害者らは補償を求めて、各地で公害裁判を起こしている。生活環境を守ろうという世論を背景に、地方自治体のなかには、地域開発に先立って31を行うことにより、開発の与える影響を調査しようとする動きもみられる。

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| ① 農 業 | ② 有機水銀 | ③ 銅山鉱毒 |
| ④ カドミウム | ⑤ 騒音・振動 | ⑥ 環境アセスメント |
| ⑦ ナショナルトラスト運動 | ⑧ 公害対策基本法の制定 | |

14
第4問 都市と都市問題、及び生活と福祉に関する次の問い(A・B)に答えよ。

(配点 18)

A 都市と都市問題に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。

産業革命以前の都市は、政治都市や宗教都市、商業貿易都市が中心であり、その人口規模も限られていたが、産業革命以降、急速に都市化が進展し、(ア)近代工業都市として成長した都市も多い。

近年の都市の拡大は著しく、(イ)市街地が行政域を越えて隣接する都市の市街地と接続したり、(ウ)中心都市と郊外の衛星都市とが機能的に結びついた圏域が形成されたり、さらに(エ)これらの圏域をいくつか含む带状の巨大な都市化地帯が出現するようになった。都市化の進展や都市の巨大化は、人口や諸機能の過度な集中をもたらし、(オ)さまざまな都市問題を引き起こしてきた。このような都市問題を解決するため、(カ)既成市街地の再開発や新しい都市計画に基づくニュータウンの建設などが試みられてきている。

問1 下線部(ア)に関して、産業革命を契機に、近代工業を核として成長した都市に該当しないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 32

① パーミンガム

② エッセン

③ ベネチア(ベニス)

④ リール

⑤ ピッツバーグ

問2 下線部(イ)・(ウ)・(エ)とそれぞれ最も関連が深い用語は次のa～cのどれか。その正しい組み合わせを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 33

a コナーベーション

b メトロポリタンエリア

c メガロポリス

	①	②	③	④	⑤	⑥
(イ)	a	a	b	b	c	c
(ウ)	b	c	a	c	a	b
(エ)	c	b	c	a	b	a

問 3 下線部(オ)に関して述べた次の文①～⑤のうちから、誤っているものを一つ選べ。 34

- ① アメリカ合衆国の大都市の旧市街の中には、建物が老朽化し、問題になっているところがある。
- ② 日本の大都市の都心部では、夜間人口(常住人口)が減少し、地価が郊外に比べて低くなっているところが多い。
- ③ 発展途上国の大都市においては、自動車の急増に道路網や交通諸施設の整備が追いつかず、深刻な交通問題に悩んでいるところが多い。
- ④ 日本の大都市の周辺で市街地が無秩序に拡大するスプロール現象は、都市施設の整備の面にも、農業に対しても、さまざまな悪影響を及ぼしている。
- ⑤ 発展途上国の大都市においては、職を求めて多数の人々が流入し、劣悪な環境の住宅地が急速に拡大して、大きな問題となっている。

問 4 下線部(カ)に関して述べた次の文章 a・bは、それぞれの都市の状況について述べたものか。次ページの①～⑥のうちから一つずつ選び、aは 35 に、bは 36 に答えよ。

a この都市では、19世紀の中ごろに、大規模な都市計画による都市構造の再編が行われ、広場を中心にした放射状道路や環状道路などが設けられた。また、下水道や地下鉄網の整備も早くから進められた。近年では、旧市街地の都市景観を保存する一方、都心から離れた地区に高層のオフィスビルを建設し、中枢管理機能の都心集中を防いでいる。

b この都市の周辺では、田園都市構想に基づき新しい住宅都市が20世紀初頭から建設されていた。その後、さらに強力な計画法に基づいて、この都市を中心とする圏域の整備が進められ、グリーンベルトの外周には職住近接を理想とするいくつかの新しい都市が建設された。

- ① ロンドン ② ベルリン ③ ローマ ④ ウィーン
⑤ パリ ⑥ ニューヨーク

1860

B 各国の生活と福祉の状況を示した次の表を見て、次ページの問い(問5・問6)に答えよ。

	1人当たり 年間繊維消 費量 (1982年)	1人当たり 栄養量* (1982年)	成人の 識字率 (1977年)	離婚率** (1984年)	医師1人当 たり人口 (1981年)	国内総生産に 占める社会保 障費の割合 (1980年)
	kg	Cal	%		人	%
ノルウェー	18.3	3,025	99	1.92	460	20.3
西ドイツ	19.2	3,456	99	2.14	420	23.8
韓国	9.7	2,892 ²⁾	93	0.56 ³⁾	1,390	...
フィリピン	2.0 ¹⁾	2,358 ²⁾	75	...	6,710	0.6
クウェート	40.6	3,242 ²⁾	60	1.55	700	...
⑤ A 国	18.9	3,347	99	4.96 ⁴⁾	500	12.7 ⁵⁾
⑥ B 国	16.9	2,629	99	1.49	740	10.9 ⁵⁾
③ C 国	1.4 ¹⁾	2,215 ²⁾	85	0.17	7,460	1.7

* 1日当たり供給栄養量の熱量

**人口1,000に対する離婚数

1) 1980年, 2) 1979~81年の平均, 3) 1982年, 4) 1985年, 5) 1979/80年

国内総生産に占める社会保障費の割合は「国際統計要覧」に、その他は「世界国勢図会」による。... は統計がないことを示す。

問 5 表中の A・B・C 国に該当する国を、次の①～⑥のうちから一つずつ選び、

A は 37 に、B は 38 に、C は 39 に答えよ。

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| ① スウェーデン | ② サウジアラビア | ③ ブラジル |
| ④ スリランカ | ⑤ アメリカ合衆国 | ⑥ 日本 |

問 6 表を参考にして、次の文 a～c の正誤を判断し、下の①～⑧のうちから該当するものを一つ選べ。 40

③ a 1人当たり栄養量の多少は、食生活の伝統とも関係が深く、その順位は国民1人当たり国民総生産の順位とは一致していない。

✕ b 離婚率の高低は、それぞれの国で主に信仰されている宗教とも関係があり、また、人口密度の高い国ほど、この値が高くなっている。

✕ c 国内総生産に占める社会保障費の割合は、先進資本主義諸国の間では、ほとんど格差が見られない。

- ① a・b・cとも誤りである。 ② aのみ正しい。 ③ bのみ正しい。
④ cのみ正しい。 ⑤ aとbが正しい。 ⑥ aとcが正しい。
⑦ bとcが正しい。 ⑧ a・b・cとも正しい。

第5問 ラテンアメリカに関する次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

(配点 20)

ラテンアメリカには、30をこえる独立国があり、それらの国々は、国土の広さや人口規模に大小の差があるだけでなく、(a)人種構成の上でも白人、黒人、インディオや、それらの混血が入り混じり多様である。さらに、国や地域によって(b)自然環境は変化に富んでおり、それにさまざまな(c)農牧業地域が形成されている。また、(d)鉱産資源の分布、(e)経済発展の程度、貿易関係なども多様である。

こうした多様性がみられる一方、ラテンアメリカは、かなり同質的な側面を有している。文化的には、(f)言語や(g)宗教に共通性が強い。また、多くの国に共通する(h)社会的、経済的問題がみられる。

問1 下線部(a)に関して八か国の人種構成比を示した次の図1において、凡例のア(縦線)に該当するものを下の①～④のうちから一つ選べ。

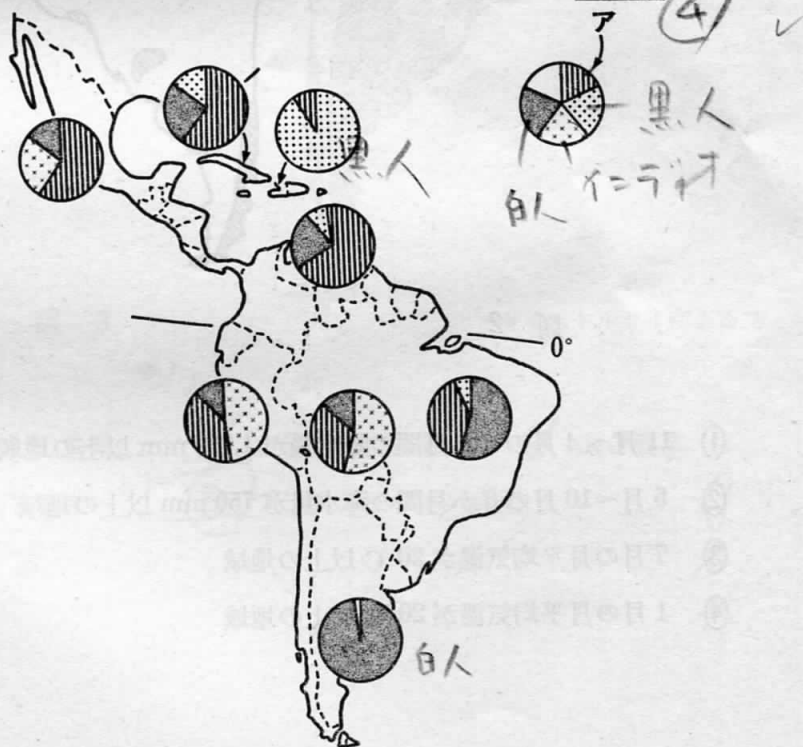


図 1

「世界年鑑」により作成

- ① 白人 ② 黒人 ③ インディオ
④ 混血(メスチソ、ムラートなど)

問 2 下線部(b)に関する次の図 2 において、斜線部が示すものを下の①～④のうちから一つ選べ。

42

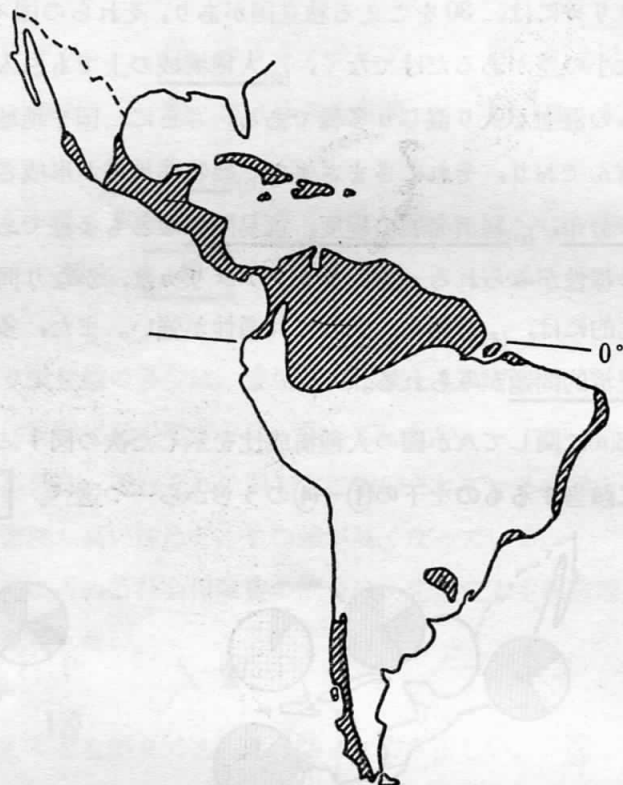


図 2

- ① 11月～4月の6か月間の降水量が 1,000 mm 以上の地域
- ✓ ② 5月～10月の6か月間の降水量が 750 mm 以上の地域
- ③ 7月の月平均気温が 20°C 以上の地域
- ✓ ④ 1月の月平均気温が 20°C 以上の地域

問 3 下線部(c)に関する次の図 3 において、実線の斜線で示した地域ではいかなる農牧業が卓越しているか。下の①～⑤のうちから一つ選べ。 43



図 3

ホイットルセイによる

~~①~~ 移動(焼畑)農業

~~②~~ 企業的穀物農業

~~③~~ 混合農業

~~④~~ 企業的牧畜業

⑤ プランテーション農業

問 4 下線部(d)に関する次の図 4 において、主要鉱産資源 A～E のうち A に該当するものを、下の①～⑤のうちから一つ選べ。

44



図 4

「オックスフォード経済地図帳」により作成

① 石炭

② 原油

③ 銅

④ 鉄

⑤ ポーキサイト

問 5 下線部(e)に関して、図 1 で人種構成比を示した八か国について、1 人当たり国民総生産と、輸出入相手国の第 1 位国、第 2 位国、及び主要輸出品の第 1 位品目、第 2 位品目を示す次の表を作成した。表中の A、B、C に該当する国を下の①～⑥のうちから選び、A は 45 に、B は 46 に、C は 47 に答えよ。

	1 人当たり 国民総生産 (米ドル)	輸入相手国と輸入 総額に占める割合 (%)	輸出相手国と輸出 総額に占める割合 (%)	主要輸出品と輸出 総額に占める割合 (%)
✓ ⑤ A	2,520	アメリカ合衆国 (22) ブラジル (13)	ソ連 (21) アメリカ合衆国 (13)	肉類 (11) 小麦 (9)
✓ ③ B	4,140	アメリカ合衆国 (48) ³⁾ 日本 (8) ³⁾	オランダ領アンチル (25) ³⁾ アメリカ合衆国 (13) ³⁾	原油 (63) 石油製品 (32)
✓ ② C	1,410 ²⁾	ソ連 (68) 中国 (4)	ソ連 (67) 中国 (6)	砂糖 (74) ⁴⁾ 石油製品 (11) ⁴⁾
D	1,310	アメリカ合衆国 (37) 日本 (13)	アメリカ合衆国 (36) 日本 (15)	原油 (17) 銅 (14)
E	300	アメリカ合衆国 (52) ³⁾ オランダ領アンチル (9) ³⁾	アメリカ合衆国 (73) ³⁾ フランス (9) ³⁾	コーヒー豆 (39) ¹⁾ ボーキサイト (11) ¹⁾
F	2,240	サウジアラビア (15) アメリカ合衆国 (15)	アメリカ合衆国 (21) 日本 (6)	コーヒー豆 (9) 機械類 (9)
メキシコ	2,270	アメリカ合衆国 (62) 西ドイツ (6)	アメリカ合衆国 (53) スペイン (9)	原油 (74) 石油ガス (2)
ボリビア	570	アメリカ合衆国 (29) アルゼンチン (15)	アルゼンチン (45) アメリカ合衆国 (26)	天然ガス (46) すず (33)

統計年次は原則として 1982 年。ただし、1) 1977 / 78 年、2) 1979 年、3) 1981 年、4) 1983 年。

「世界開発報告」、「国連貿易統計年鑑」、「世界国勢図会」、「データファイル世界の国ぐに」による。

- | | | |
|-------|----------|---------|
| ① ハイチ | ② キューバ | ③ ベネズエラ |
| ④ ペルー | ⑤ アルゼンチン | ⑥ ブラジル |

問 6 下線部(f)に関して、ラテンアメリカ諸国中、過半数の国で公用語とされ、約2億5千万人が用いている言語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 48

① スペイン語

② フランス語

③ 英語

④ オランダ語

⑤ ポルトガル語

問 7 下線部(g)に関して、ラテンアメリカで最も信者が多い宗教を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 49

① イスラム教

② 仏教

③ ヒンズー教

④ キリスト教(カトリック) ⑤ キリスト教(プロテスタント)

問 8 下線部(h)に関して述べた次の文①～⑤のうちから、誤っているものを一つ選べ。 50

① 農地改革が不十分で、大土地所有制が残存している。

② 軍事政権が、人種隔離政策(アパルトヘイト)を実施している。

③ 都市と農村の発展の格差が著しい。

④ モノカルチャー経済の体質をもち、外国資本に依存する度合いが強い。

⑤ 少数の者に富や権力が集中している。